

○栄光の十字架：十字架が明らかにする“御子の姿”

1. 御子の_____ (27-28)

「イエスの心は深く動揺していました。ここで用いられている動詞は非常に強い意味を持ち、強い嫌悪感、恐怖、不安、激しい動揺を表しています。」(DAカーソン)

「イエスの苦悩は極限に達していました。彼の心は激しい苦痛に苛まれていました。『騒いでいる』という一語の内に、恐怖、深い悲しみ、打ちひしがれた思いといった感情の全てが含まれています。」(アーサー・ピンク)

※マタイ26:38

「そのとき、イエスは彼らに言われた。「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです…」」

※マタイ27:46

「三時ごろ、イエスは大声で、「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」と叫ばれた。これは、「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。」

2. 御子の_____ (29-33)

1) _____ に対する裁き

※ヨハネ3:17

「神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。」

2) _____ に対する勝利

※ヘブル2:14-15

「そこで、子たちはみな血と肉とを持っているので、主もまた同じように、これらのものをお持ちになりました。これは、その死によって、悪魔という、死の力を持つ者を滅ぼし、一生涯死の恐怖につながれて奴隷となっていた人々を解放してくださるためでした。」

3) _____ に対する救い

「カルバリで十字架につけられたキリストこそ、おびえ、疑い、罪によって滅びに向かう大勢の罪人たちを引き寄せる力強い磁石です。彼らは恵みによってキリストのもとへと引き寄せられ、その御方のうちに永遠のいのちを見いだすのです。」(スポルジョン)

※1コリント1:18

「十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。」

3. 御子の_____ (34-37)

※マタイ25:30

「役に立たぬしもべは、外の暗やみに追い出しなさい。そこで泣いて歯ざしりするのです。」

※ユダ13

「…まっ暗なやみが、彼らのために永遠に用意されています。」